

(2) 第 1 部 「緑町大型スーパー出店に伴うまちづくり」をテーマにした意見交換 (要旨)

◆ 大型スーパーの出店について

緑町の「グリーンパークゴルフセンター(緑町 1-3-13)」「グリーンパークハイツ(緑町 1-3-14)」の跡地に、「武蔵野グリーンパークビル」の建設が予定されている。計画では、このビルの 1 階にスーパーマーケット「サミット」、2～3 階に駐車場、4～5 階にゴルフ練習場が入ることとなっている。このビルの建設に伴い、現在、京王ストア前にあるバス停「武蔵野住宅(三鷹駅行き・吉祥寺駅行き)」が、交通安全の観点から、南側に移設されることが予定されている。



1. 緑化など周辺環境について

【ご意見】

大型スーパー出店に伴い、市の要綱によって、公開空地を 10% 設置するということが決まっているが、緑町なので、できるだけ緑に覆われたまちにしたい。昨日、緑懇話会とサミット側との話し合いがあった。サミット側は、あまり緑に関心がないようであり、いろいろと要求したが、いい返事がなかったので、行政の方からも積極的に指導してほしい。

また、サミットが入るビルの東側に、未利用地が 2,000～3,000 m² あるようだが、おそらく駐車場ができるであろうということで、周辺にお住まいの方たちはかなり影響を受ける。今月末に、サミット側から、「大規模小売店舗立地法(以下、大店法)」に関する説明会があるというので、細かいことはその場で事業者に要求するつもりだが、行政からも、環境に悪影響を及ぼさないようなものにするよう指導してほしい。近い将来、「まちづくり条例」ができるので、私たちもその中でかなり厳しいことを言えればよいと思っている。

2. 緑懇話会について

【ご意見】

緑懇話会という言葉が最近よく聞くが、これがどういうグループなのか知られていないと思う。それをまず説明していただいて、どんな大型スーパーができるのか、お聞かせ願いたい。

3. バス停の移動について

【ご意見】

中学校給食が今年から始まるということで、とても嬉しい。民間委託という声が聞こえてきているが、絶対やらないでほしい。民間委託されると、やはり栄養面での心配もある。

サミットについては、時間の問題で、必ず出店するらしいので、本当にどうなるんだろうと思っている。バス停が南側に 60m ほど移設されるという話も聞いているが、ご年配の方

ちや足の悪い方は、60m先になると大変だ。60m向こうに行くのであれば、「N T T 武蔵野研究開発センタ」の前まで来ているバスを延ばしてもらえないかという声も出ている。緑懇話会の方たちは、一生懸命やっているもので、そういう方たちからの声を聞きながら、住民と一緒にまちづくりを考えていかなければならないと感じている。

【市 長】

現在、市内でさまざまな大規模開発が計画されています。基本的には「宅地開発等に関する指導要綱」、あるいは、武蔵野市が持っている基準に従って指導をしています。緑を重要視したいという思いがあります。一定基準の公開空地等を設けられたならば、その中でどうやって緑を増やすことができるか。公開空地とは別に、緑化基準がありますので、それを含めて、緑の確保・維持を行ってほしいと思いますし、きちんとした指導をしていきたいと思ひます。緑地の生み出し方については、個別に調整をしていきますので、皆さんもいろいろな意見を出していただいて、緑町にふさわしい緑化となるよう、私どもも大いに指導していきたいと思ひます。

東側の未利用地については、まだ私どものほうにも具体的な利用方法は伝わっていませんが、今後も適正な利用が図れるように指導をしていきたいと思ひます。ただ、環境に悪影響を出さないようにすることは当然ですが、用途地域の規制があるところですので、原則として、それに沿った用途ということになるかと思ひます。

緑懇話会については、後ほど平田委員長からご説明いただきたいと思ひますが、サミットの進出により、バス停の位置を移動しないといけないということになっています。今までのバス停を移動するのは、利便性から言うと問題だと私も認識しています。60m移動すると、今までの距離プラス 60mになり、足腰の弱い方々にとっては、ご苦労が増えてしまうと思ひます。しかし、現在のバス停の状況等を見ますと、安全面に問題があります。交通体系全体の安全やバス停の快適性の観点から、地域の皆さんと協定を結ばれたようですが、60mの移動というのは、ある程度致し方ないかと思ひます。

団地の中からバス停までの距離が遠いということがあって、新たなバス路線を設置できないかとの要望を地元の自治会 3 代表から市と関東バス宛にいただいています。私としては、団地の中の安全確保と利便性がよくなるのであれば、関東バスに検討してもらってよいと考えています。関東バスとしては、実際にバスを通して見て、あまり人が乗らず、経営的に成り立たないようであれば、これは難しいという話がありますが、経営上の問題も含めて検討してほしいと思ひます。



【緑町コミュニティ協議会 平田委員長】

緑懇話会については、緑町パークタウン・都営武蔵野アパート・第二都営アパートの各自治会、マンション「ギャラリー」の管理組合、また、商店会として、緑町一番街・グリーンパーク商店会・緑町商栄会と、緑町 1 丁目町会・中宮町会、緑町コミュニティ協議会の代表者

で構成されています。この 10 団体で、いろんな会議をやっています、このサミットの問題についても協議をしています。そこでの協議内容を各代表が持ち帰って、各地域・団体の住民にお知らせすることになっていますが、全体的な情報がなかなか流れていないという指摘を受けましたので、それはきちんとしなければと考えています。また、ここが絶対的な権限を持ってやっているわけではありませんで、サミットの問題についても、地域の多くの方々のご意見でまとめようということで話をしました。

バス停については、最初は遠くなるのは反対という意見が強かったんですが、これからのまちづくりを考えた場合には、交通安全が一番大事ということで、いろいろ研究した結果、バスレーンをつくってバス停を移動するのはやむを得ないということになりました。一部では反対もありますが、緑懇話会としては、それでやっていくしかないだろうということになっています。

バス停が遠くなるということは確かにあります。正確には、65m 移動しますが、遠い人は、まず、自宅から現在のバス停まで来るのに大体 400m ほどありますから、500m ほどの距離になるわけです。関東バスが「NTT 武蔵野研究開発センタ」まで来ていますので、そこに来た三鷹行きのバスは団地の中を通過して、1カ所どこかに停車して、三鷹駅に戻ったらどうだろうかと考えています。こちらを走っていて、そのコースが少し変わるだけですから、経営的にできないことはないと思います。ただ、道路の幅や、交通安全の問題もありますので、それに関しては、研究しなければならないと考えています。

4. バス路線について

【ご意見】

バス路線について、「NTT 武蔵野研究開発センタ」の前まで来るバスは、通勤時以外はほとんどない。吉祥寺駅からの北西循環のムーバスがあるが、その路線を 1 本置きに緑町まで延長するという方法もあるのではないかと。コミセンから都営住宅を通過して水道部の横を通過して成蹊の横へ出てくるように延長し、今のダイヤの 1 本か 2 本置きにすれば、平日、日曜日の昼間も含め、ほぼ運行できるのではないかと。成蹊の西門のところは乗降が非常に少ないので、影響はそれほど多くはないはずだ。また、都営武蔵野アパートの中に停留所ができれば、住民の方も便利になるかと思う。



もう一つ、交通対策の面で、武蔵野東学園の南側の道路は今も大変交通が多いが、歩道が狭くて歩行者と自転車が歩道をすれ違えないくらいだ。これは極めて危険だし、このスーパーができることによって、今後さらに交通量が増えると予想されるので、できれば両側の歩道を拡幅して、すれ違いが無理なく行えるようにすると同時に、車は一方通行にする。そして、その先の水道部のほうに真っすぐ行く一方通行とつなげて、交通の支障はそれほど大きくはないのではないかと。今は中央通りを南のほうから来た車が、ミニストップのところの

交差点を左へ曲がってくることがあり、通行している人にとっては非常に危ないので、できればそこは一方通行にすると。サミットの開業にあわせてご検討いただけたらと思う。

5. バスの排気ガスについて

【ご意見】

日々生活していて気がついたことがある。バスの排気ガスのことだ。おそらく、市に対して、関東バスの排気ガスの苦情が来ているのではないかと思うが、日頃、私たちがまちまで歩いていると、バスの排気ガスはすごい。ぜひご見解をお伺いしたい。

6. 自転車走行のための道路スペースの確保について

【ご意見】

京王ストアの前から八幡町へ向かっていくバス路線の道路のことだが、当時、高齢者が高齢者総合センターへ行きやすいようにと、地域住民が運動をして、この道路の沿線にガードレールが設置されることになった。歩行者の安全を役所で考えてくれたが、あそこは都道だから、その当時、道路の幅を歩行者のために広げることがなかなか難しいということで、結果的には今のガードレールがついている。あのガードレールは、ちょうど1mしかないが、歩行者はもちろん、車椅子、学校へ行く子供たちの自転車、それから、この道路沿いに動物病院ができたこともあり、たくさん車の通行がある。ガードレールが設置された平成元年当時よりも、通行が多くなったので、ガードレールの外側に白線を引いてくださったが、その白線がちょうどガードレールすれすれに引いてある。新しい法律で、自転車は車道の一番端を通るといような話になると、お金もそんなにはかからないと思うので、できれば白線を今の位置よりも自転車がすれすれに通れる幅くらいへ広げていただきたい。あそこは幼稚園や銭湯もあって、有効な道路になっているので、役所で現場を見に来てほしい。



【市長】

バスに関するご意見をいくつかいただきました。現在、バス路線は三鷹駅から中央通りを行く路線があるし、それから、「NTT武蔵野研究開発センタ」のほうに行く路線もあります。最初のご意見のバスの路線の変更というのは、「NTT武蔵野研究開発センタ」に行っている路線がありますが、朝の帰りのバスが、空で駅まで戻ってきているので、もったいないのではということで、せめて帰りのバスは団地の中を通過して、その中のどこかにバス停を新設すれば、それに乗って駅まで行けるのではというご提案です。

バスの便がどれくらいあるのか調べましたが、朝夕は「NTT武蔵野研究開発センタ」等の通勤の皆さんが使うので結構あるんですが、日中は1時間に1～2本ということなので、その範囲でしか考えられないのではないかと思います。しかし、それについては、関東バスの判断もあるかと思いますので、安全走行に支障がないかどうかも含めて、関東バスのほう

で検討してもらいたいと思います。

ムーバスについては、大変利用客の多い路線として、吉祥寺北西循環があります。これを緑町方面に回すというご提案ですが、路線を 1 周する所要時間はある程度想定していますので、あまり大回りすると時間がかかってしまうということもあります。それから、路線バスの空白地帯をムーバスでフォローしていくという基本的な考え方がありまして、比較的この地域はバス路線が周囲にあるので、ムーバスの検討対象の地域ではないというのが今の市の考えです。ですので、ムーバス路線を延長するのは、実現が難しい提案だと思います。既存のバス路線をどの程度ルート変更すれば、皆さんの要望がクリアできるのかについては、議論と検討が必要かと思っています。

市内の道路については、幅員が大変狭いということから、ゆとりある歩道が確保できていない状況にあります。歩道を広げるには、車道を狭めるか、あるいは沿線の皆さんに土地を提供いただくか、どちらかしかないわけですが、現在のところ、例えば、武蔵野東学園の南側も一定程度の通行がありますので、両面交通を維持するとなれば、車道の幅員については、現在の状態が限度なのかと思います。そうしますと、沿道の地権者の皆さんにセットバックをしてもらって歩道空間を提供いただくしかないのかと思います。既にガレリアの開発時にはセットバックをしてもらって、公開空地を歩道空間として設置いただいています。今までにない若干広めの空間になっていますので、こういった一体的な開発のときには、協力を得やすいんですが、そうでないときには、なかなか難しい面があります。

ただ、これからのまちづくりの方向性として、皆さんで議論いただきたいと思います。先ほど、まちづくり条例のお話を出していただきましたが、この条例では、地域のまちづくり計画をしましょうということで、いろいろなメニューを用意してあります。歩道空間をゆとりあるものにしたいとか、建物を建てかえるときには壁面を下げた歩道空間として提供してほしいとか、そういう方向性と具体的な基準等ができれば、それをもとに歩道空間の創出が可能になってくるかと思っています。一時的に都市計画決定をして、どうこうというのは、なかなか難しい面がありますが、地域の皆さんの話し合いの結果であれば、方向性として可能性はあるかと思っています。



バスからの排気ガスについては、確かに大変厳しいです。ただ、バス事業者もいろいろ工夫をしているようでして、環境に配慮した型のバスの導入はある程度取り組んでいると認識しています。

【山本環境政策課長】

市のほうには、関東バスの排気ガスに関するご意見は特にいただいていませんが、できるだけ低公害の車を使ってほしいということは、関東バスなど、各バス事業者に対して定期的をお願いしているところです。

【市長】

自家用車の利用はなるべく避け、公共交通機関をより利用していただきたいと考えていま

すが、その公共交通機関自体が公害の源ですと、それはまた大変な話になってきます。公共交通機関に対しましても、低公害・無公害のバスの導入について、大いに意見を出していきたいと思います。

【司 会】

本日出席されていない方から、事前にファックスで、ご意見をいただいていますので、その要点だけ申し上げます。

「バス停の移動に納得できない。現在、多数の人が利用しているものを、後からできるもののために移動するのは腹立たしい。スーパー出店で心配なことは、あの場所で商売が成り立つかどうかということだ。計3店のスーパーをこの地域で支えられるとは思えない。」



「スーパーの出店そのものに反対すべきだったのでは。他の店がなくなる可能性がある。これ以上の交通量は、騒音や排気ガス等で、環境を悪化させるだけだ。」

「スーパー出店のために地域住民が不便をこうむるのはいかがなものか。バス停がこれ以上遠くなれば、吉祥寺への足が遠のき、武蔵野市全体に悪影響を及ぼすのではないか。移動させずに済む方法をもう一度検討してほしい。」

7. バス路線の道路について

【ご意見】

バスのルートについて、市の権限はどこまで及ぶのか。市道か都道かによって、随分違って来るだろう。提案したルートの中には、大型バスが通れない部分もあるので、市役所のほうで何か工夫できないか。その部分をちょっと削って、停留所をつくってもいいのではないか。そうすれば、パークタウンや都営住宅の住民の受け皿になると思う。

8. 大型スーパーの営業時間について

【ご意見】

大店法のことについて提案とお願いがある。サミットは営業時間を午前1時までとして、頑として譲らない雰囲気だが、世の中がCO₂を削減しようとしている中で、お店の利益のために、逆行するような方向で営業されようとしている。当然のことながら、そこには、緑町一番街、グリーンパーク商店会、商栄会などの商店街があるが、これらの商店街はかなり早い時間にお店を閉められて、ある意味で常識的な営業をされている。後から来るところが、地域から反対をされているような営業をしているものなのか。説明会のときには、午前1時までではやり過ぎではないかという話が結構出ていた。多分、大店法での意見書を行政から出せると思うので、皆さんの意向として、ぜひそれを伝えていただきたい。

それと、先ほどファックスでの意見でも出たように、地域の商店街が大型店のために吹っ

飛んでしまうようでは、一体何なのかという思いがある。私たち地域の住民もできるだけ地元の商店街を使いたいと思っているが、地元の商店街の方たちは、サミットが進出するので、気落ちをされたんだか、あまり元気がないので、行政のほうでも生活経済課を中心に、力を貸してあげられたらいいのではないか。

【市長】

バスルートの件については、地域の皆さんから出していただいた、団地の中を通すという要望とは別に、五日市街道を真っすぐ行ってはどうかというご提案ですね。それはご意見として伺っておきます。

次に、大店法絡みの話をいただきまして、市として出店規制ができるかということ、それはなかなか厳しいです。自治体が根拠を持って指導できる法令があればいいんですが、大店法は今そういう法律ではなくなってしまったという点があります。深夜までの営業は、利便性はある、また、防犯に貢献しているという面もありますが、環境の問題がこれほど騒がれているときに、煌々と電気をつけた姿は、もったいないという面もあります。それについては、利用される市民の方も多々いらっしゃいますので、皆さんでの議論が必要ではないかと思えます。

私も商店街に頑張ってもらいたいということで、タウンミーティングも今年になって2回ほど商店街をテーマにやっています。大変申し訳ないのですが、市として、大規模店の出店規制はなかなか難しい面があります。しかし、来客は増えることは確実です。それをいかに商店街のほうに引っ張ってくるかというような、前向きな検討をいただきたいと思えます。

この間、商店街に対しても、市としてさまざまな支援策を用意してありますので、そういうのも活用しながら、商店街のあり方を皆さんで議論いただきたいと思えます。商店街というのは、地域の皆さんの応援がないと成り立たないので、地域の皆さんも地元の商店街の利用を一緒に推進してください。そうしないと、商店街は絶対成り立ちません。大規模店に来た他の地域の方にもとどまってもらいたいし、皆さん方も従来と同様に、地域の商店街をぜひご利用していただきたいと思えます。